

授業科目	公衆衛生看護技術演習				単位	1		
履修	選択	関連資格	保健師		ナンバリング	NU31607J		
開講年次	4年	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2			
担当教員	布花原 明子、鹿毛 美香							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本演習では、公衆衛生看護技術論で修得した知識を基に、実習地域の健康課題の解決に向けて公衆衛生看護技術を演習する。前半は、個人/家族を対象とした家庭訪問の技術について、事例計画立案及びロールプレイを実施し評価する。後半は、特定集団を対象として健康教育を計画立案・実施・評価する。実務家教員として個人/家族及び集団を対象とした公衆衛生看護技術の経験を活かして授業を行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人・家族が主体的に健康課題を解決できるために、必要な保健指導の知識・技術を習得できる(DP2-1,DP5-1,DP5-2)。 2. 家庭訪問の計画立案及びデモンストレーションを通して、個・家族を対象としたアセスメント、計画立案、支援の実施、評価の一連のプロセスを実施できる(DP2-1,DP3-1,DP4-1,DP4-2,DP5-1,DP5-2)。 3. 対象集団が主体的に健康課題を解決できるために、必要な保健指導の知識・技術を習得できる(DP2-1,DP5-1,DP5-2)。 4. 特定集団への健康教育を通して、企画及び指導案作成、支援の実施、評価の一連のプロセスを実施できる(DP2-1,DP3-1,DP4-1,DP4-2,DP5-1,DP5-2)。 5. 公衆衛生看護における倫理的問題について考えることができる(DP2-1,DP3-1,DP4-2)。 6. グループ演習を通して、健康支援に関わるグループメンバーとディスカッションできる(Dp3-1,DP4-1,DP4-2)。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	80	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				10	20		30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				5			5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				5			5	
態度 (DP4-2)				5			5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				15			15	
技能・表現 (DP5-2)				40			40	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
対象となる個人・家族、集団の特性を十分に理解し、健康課題の解決に向けて共に考え支援する姿勢、態度を、具体的な行動に示すことができる。予防的視点から正確かつ具体的な支援技術を実施できる。また、看護専門職として倫理に基づく行動のあり				事例をもとに、対象となる個人・家族、集団を理解し、健康課題の解決に向けて共に考え支援する姿勢、態度の必要性を説明できる。また、対象のライフステージの特性を理解し、基本的な支援技術を実施できる。また、看護専門職として倫理に基づく				

方を具体的に説明することができる。		行動のあり方を説明することができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:家庭訪問の基本技術1(布花原明子・鹿毛美香) 事例に基づき家庭訪問の計画を立案する。グループワークを交えながら計画内容を検討する。	演習(GW)	予習 ・オリエンテーション時に提示された家庭訪問事例の計画をグループで立案して持参する。 ・実習地域において、事例が利用可能なサービス(社会資源)を情報収集する。	120
2	テーマ:家庭訪問の基本技術2(布花原明子・鹿毛美香) 修正した家庭訪問計画に基づいて、ロールプレイ場面を設定する。場面での保健指導を具体的に計画し、グループワークを交えながら検討する。	演習(GW)	予習・復習:家庭訪問の計画を教員に説明できるよう準備し、助言を活かして修正する。保健指導を実施するために不足している知識を追加する。	120
3	テーマ:家庭訪問の基本技術3(布花原明子・鹿毛美香) 設定した家庭訪問のロールプレイ場面で、学生同士技術練習を行う。保健指導場面に必要な技術についてグループワークを交えながら検討する。	演習(GW)	予習・復習 母親役割は教員が担当する。実施する看護技術は、どの学生が保健師役割になっても実施できるよう空き時間を利用してロールプレイでの保健指導技術を練習する。	120
4	テーマ:家庭訪問の基本技術4(布花原明子・鹿毛美香) 家庭訪問のロールプレイを実施する。実施した技術について、全体ディスカッションを交えながら、予防、科学的エビデンス及び個別性の観点から検討する。	演習(全体発表・意見交換)	予習 実施する看護技術は、どの学生が保健師役割になっても実施できるよう空き時間を利用してロールプレイでの保健指導技術を練習する。	発表準備に必要な時間
5	テーマ:家庭訪問の基本技術5(布花原明子・鹿毛美香) 家庭訪問のロールプレイを実施する。実施した技術について、全体ディスカッションを交えながら、予防、科学的エビデンス及び個別性の観点から検討する。	演習(全体発表・意見交換)	予習 実施する看護技術は、どの学生が保健師役割になっても実施できるよう空き時間を利用してロールプレイでの保健指導技術を練習する。	発表準備に必要な時間
6	テーマ:家庭訪問の基本技術6(布花原明子・鹿毛美香) 実施した技術について、全体ディスカッションと教員からの助言を活かして、グループで振り返りを行う。振り返りの視点を解説しながら進める。	演習(全体発表・GW)	復習 グループでの振り返りをもとに、各自で保健指導技術を評価し、実習に向けて、追加が必要な知識・技術・態度を明らかにする。 課題:家庭訪問計画及び評価シート提出	60
7	テーマ:家庭訪問における倫理的問題の検討(布花原明子・鹿毛美香) 公衆衛生看護において生じやすい倫理的問題について、家庭訪問事例を用いてグループワークを交えながら検討する。	演習(GW・全体討議)	予習 看護倫理で学んだ知識を復習して授業に臨む。	45

8	<p>テーマ:健康教育の基本技術1.(布花原明子・鹿毛美香)</p> <p>実習地域のアセスメントをふまえ、特定集団を対象とした健康教育の指導案を作成する。対象特性に応じた達成目標、評価方法の設定、指定された時間内で導入・展開・まとめの流れと具体的な内容を構成できるよう、グループワークを交えながら検討する。</p>	演習(GW)	<p>予習</p> <p>授業の最後に、次回からの健康教育技術演習のテーマを提示する。指導案作成に必要な知識・情報収集を行う。</p> <p>復習</p> <p>助言を活かして健康教育指導案を作成する</p>	指導案作成に必要な時間
9	<p>テーマ:健康教育の基本技術2.(布花原明子・鹿毛美香)</p> <p>修正した指導案をもとに、原稿を作成する。また、効果的な教育媒体について検討する。適宜、グループワークの進捗状況を確認しながら検討する。</p>	演習(GW)	<p>復習</p> <p>助言を活かして原稿を完成させ、次回のデモンストレーションに向けて教育媒体を作成する。</p>	デモンストレーションの準備に必要な時間
10	<p>テーマ:健康教育の基本技術3.(布花原明子・鹿毛美香)</p> <p>各グループの健康教育デモストに対し、互いに意見交換を交えながら、原稿案及び教育媒体の改善点を検討する。</p>	演習(GW・デモンストレーション)	<p>復習</p> <p>健康教育指導案、原稿、教育媒体を見直し、他グループからの意見や教員の助言を活かして修正する。</p>	修正に必要な時間
11	<p>テーマ:健康教育の基本技術4.(布花原明子・鹿毛美香)</p> <p>各グループの健康教育デモストに対し、互いに意見交換を交えながら、原稿案及び教育媒体を完成させる。</p>	演習(GW・デモンストレーション)	<p>復習</p> <p>健康教育指導案、原稿、教育媒体を完成させる。</p>	資料作成に必要な時間
12	<p>テーマ:健康教育の基本技術5.(布花原明子・鹿毛美香)</p> <p>完成した資料(原稿、教育媒体、評価方法等)を教員は確認し、健康教育を時間内で効果的に実施する。</p>	演習(GW)	<p>復習</p> <p>見直した健康教育指導案、原稿、教育媒体をもとに、健康教育実施までに練習を行う。</p>	健康教育を実施するために必要な時間
13	<p>テーマ:健康教育の基本技術6.(布花原明子・鹿毛美香)</p> <p>グループ全員が役割を担い、協働して健康教育を実施する。教員は進行役割を担う。</p>	演習(健康教育実施)	<p>予習</p> <p>健康教育実施時は、対象者の反応を確認しながら進めることが必要であるため、できれば、原稿を手を持たずに実施できるまで練習することが望ましい。</p>	課題達成に必要な時間
14	<p>テーマ:健康教育の基本技術7.(布花原明子・鹿毛美香)</p> <p>グループ全員が役割を担い、協働して健康教育を実施する。教員は進行役割を担う。</p>	演習(健康教育実施)	<p>予習</p> <p>13回と同様とする</p>	13回と同様とする
15	<p>テーマ:健康教育の基本技術8.(布花原明子・鹿毛美香)</p> <p>実施した健康教育について、全体の意見交換を交えながら、総評を行い評価の視点を解説する。</p>	演習(GW)	<p>復習</p> <p>実施した健康教育について、他者評価及び教員の助言を活かして、各自振り返りを行う。</p> <p>課題:健康教育指導案・その他配布資料及び振り返りシートの提出</p>	90
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護学の知識(母性看護学・小児看護学・成人老年看護学)及び対象別保健指導論(母子保健指導・成人老年保健指導)や看護形態機能学及び疾病各論の知識を用いて、家庭訪問・健康教育を展開していきます。そのためには既習知識の復習が必要になります。また、保健指導の実施において、科学的エビデンスに基づいた保健指導が求められるため、専門ジャーナルの文献検索の方法を復習してください。			
テキスト	特に指定しない。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	提示された健康教育のテーマに関する文献は、指定図書にも揃えています。また、保健指導のエビデンスについても指定図書、学術雑誌(医学中央雑誌等)を検索して資料を活用したり、厚生労働省HPで公開されている情報も参考にしましょう。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	当該授業は、実習が開始する6月までの期間に集中講義で進めます。従って、単位習得に必要な出席数に留意してください。授業進行の時間割はオリエンテーション時に配布して説明します。 演習は実習のグループ3名単位で進めます。家庭訪問や健康教育では、対象者の価値観や生活背景を十分に尊重し、対象者自身が自らの健康課題を解決できるための支援の方法や技術を考えて、倫理的観点もふまえて実施できることを目指していきましょう。 また、グループ間の協働関係を形成し、リーダーシップ、メンバーシップを習得し、実習が開始する時期には保健			
達成度評価に関するコメント	授業時に評価の詳細は説明します。			